

令和7年10月分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和7年10月分について、輸出額は「自動車の部分品」などが減少したものの、「自動車」「金属加工機械」などが増加したことから、対前年同月比2.7%の増加となった。また、輸入額は「金属鉱及びくず」「石油製品」などが増加したものの、「原粗油」「液化天然ガス」などが減少したことから、同4.9%の減少となった。

その結果、差引額は8,447億円（同9.3%の増加）となった。

名古屋港における差引額は、平成23年6月以降173ヵ月（14年5ヵ月）連続 全国港別（空港含む）第1位。

注) 本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同月比による。

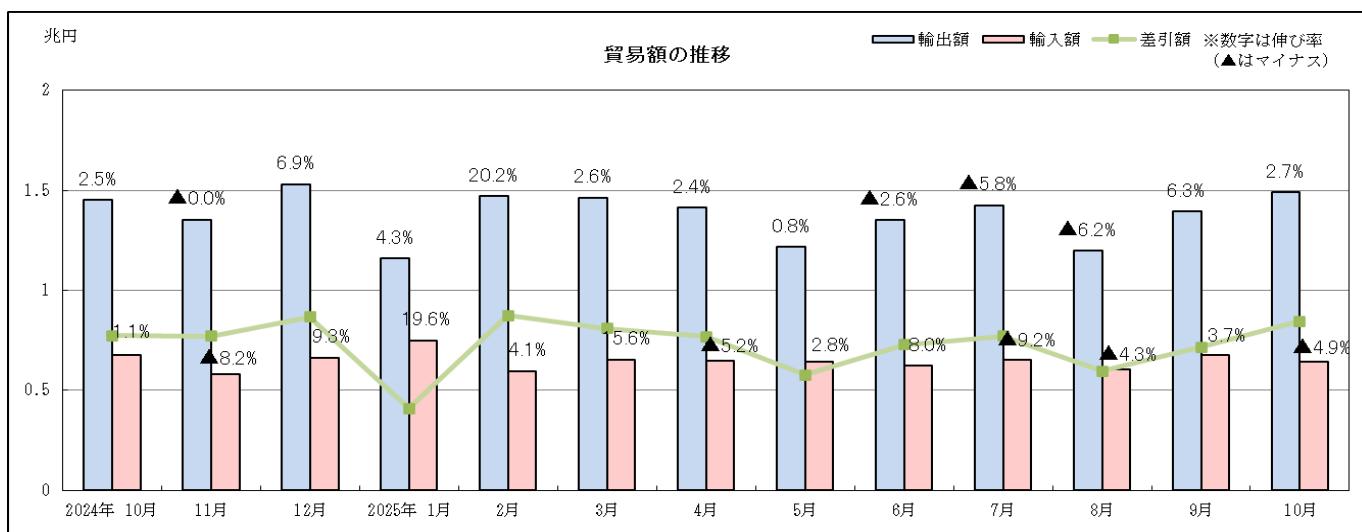
また、名古屋港における全ての月を通じて過去最高を示す★印と輸出入額等の順位は1979年1月以降のデータを基礎として比較。

○総額

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額	伸率
名古屋港	1兆4,893億円	+2.7%	6,446億円	▲4.9%	8,447億円	+9.3%
	2ヵ月連続の増加			2ヵ月ぶりの減少		
	順位 過去 3位	10月として 1位	順位 過去 17位	10月として 4位	順位 過去 4位	10月として 1位
管 内（名港シェア）	2兆3,128億円 (64.4%)		1兆1,872億円 (54.3%)		1兆1,256億円 (—)	
全 国（名港シェア）	9兆7,663億円 (15.2%)		9兆9,981億円 (6.4%)		▲2,318億円 (—)	

○主な増減品目

	概況品名	金額	伸率	寄与度	増減
輸出	(1) 自動車	★ 4,921億円	+3.0%	+1.0	2ヵ月連続の増加
	(2) 金属加工機械	492億円	+27.8%	+0.7	2ヵ月連続の増加
	減少(1) 自動車の部分品	1,573億円	▲10.5%	▲1.3	8ヵ月連続の減少
輸入	増(1) 金属鉱及びくず	154億円	+162.7%	+1.4	3ヵ月連続の増加
	(2) 石油製品	178億円	+60.7%	+1.0	2ヵ月連続の増加
	減少(1) 原粗油	-	全減	▲6.6	4ヵ月連続の減少
減少	(2) 液化天然ガス	429億円	▲18.0%	▲1.4	7ヵ月連続の減少



★名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。

名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諏訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。